

| | | | | | | | | | |
|-------|-------------|------|---------------------|------|----------|------|----------------|------|----------|
| 政策目標 | 未来を担う人が育つまち | 施策目標 | 子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育 | 主要施策 | 確かな学力の向上 | 評価部局 | 教育委員会 学校教育部 | 関連部局 | 教育委員会管理部 |
| 施策コード | 2215 | 施策名 | 特別支援教育の推進 | | | | | | |

| 目的 | 施策の目的 (目指すべき姿) | 施策の方向性 | 成果指標 | | | | | | | | |
|----|---|-------------------------------------|------------------------|--|-------------------------|---------------|-----|-----|-----|-----|-------------|
| | | | 指標名(単位) | 性質 | 指標の意味・算式等 | H26 (基準年度) | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 (最終) |
| 目的 | 平成28年度 目指すべき姿 | ① 個別の支援計画『ステップ★ぐんぐん』を作成している人数の割合(%) | ↑ | 個別の支援計画の作成が必要な人数のうち、作成している人数の割合(平成27年度実績値87.6を基準に目標値を設定) | 目標 | 88 | 88 | 89 | 89 | 90 | |
| | | | 実績 | 87.6 | | | | | | | |
| | ・インクルーシブ教育システム構築に向けて、改訂版「今後の特別支援教育のあり方について」(基本方針)に基づき、各学校園において特別支援教育を推進する。 ・個々の児童生徒の将来の自立を目指し、合意形成による合理的配慮を行うとともに、教育と他部局・機関とのネットワークづくりを進める。 ・早期からの教育相談、一貫した支援の充実と、適正な就学就園に向けた相談体制等の整備に取り組む。 | 取組維持 | ② 特別支援教育に関する研修の参加者数(人) | ↑ | 特別支援教育に関する研修に参加した教師のべ人数 | 目標 | 920 | 920 | 920 | 920 | 920 |
| | | | | 実績 | 825 | | | | | | |
| | | | ③ | 目標 | | | | | | | |
| | | | | 実績 | | | | | | | |

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業の目的 | 事業の内容 | 平成28年度 事業の目標 | 事業費の概算(千円) | | 活動/成果指標の状況 | | | | 重点新規 | | | |
|--|--|--|---|--|------------|-------|------------|-------------------------------------|--------------------------|---------------------------------|------|--------|-----|-----|
| | | | | | 款 | 項 | H27 | H28 | 指標名 | 性質 | | 意味・算式等 | H27 | H28 |
| 手段 | 221501 伊丹市特別支援教育審議会事業<名称変更前:「伊丹市特別支援ネットワーク事業」> | ・LD・ADHD・高機能自閉症等をはじめ、障がいのある幼児児童生徒への総合的な支援体制の整備を図る。 ・全市的な特別支援教育の充実を図る。 | ・本市における特別支援教育の在り方に関する協議 ・本市における特別支援教育推進のためのネットワークの整備と関係機関との連絡調整 ・個別の教育支援計画の作成及び活用の在り方の検証と提言 | ・関係機関によるネットワークづくりの推進 ・早期からの一貫した支援体制の整備とサポートファイル「ステップ★ぐんぐん」の活用 | 10 | 134 | 88 | 個別の教育支援計画『ステップ★ぐんぐん』を作成している人数の割合(%) | ↑ | 個別の教育支援計画の作成が必要な人数のうち、作成した人数の割合 | 計画 | - | 88 | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | 221502 なかよしキャンプ事業 | ・自らの生活課題に向かって取り組む楽しさを味わわせる。 ・身辺自立の習慣を養う。 ・学級内の人間関係を深め、特別支援学校、特別支援学級相互の友情を育てる。 ・担任が児童生徒の生活状態を把握する。 | 障がいのある児童生徒が家庭から離れて、仲間と寝食を共にする生活を行う。自然の中で水遊びやキャンドルサービスなどを楽しむ機会を設ける。 | ・児童生徒の状況に応じたプログラムの企画、実施 ・体験活動を通じた仲間づくり、より良い人間関係づくりの推進 | 10 | 1,120 | 1,082 | 参加児童生徒数(人) | = | なかよしキャンプに参加した児童生徒の人数 | 計画 | 100 | 100 | 創注 |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 221504 障害児の自然体験活動推進事業 | 市立伊丹特別支援学校の児童生徒を対象に、宿泊を伴う集団生活を実施。 ・自然に親しみ、自主的・自立の態度を養う。 ・母子分離訓練の一助とする。 ・交友関係を広げ、協力共同等の社会性を養う。 | 伊丹特別支援学校の小学部4年生～高等部3年生を対象に1泊2日の宿泊行事を行う。 | ・自然体験活動を通じた自主的・自立の態度、豊かな心情、社会性の育成 ・障害の重度多様化を踏まえ、プログラムの内容を検討 | 10 | 183 | 180 | 参加児童生徒数(人) | = | 活動に参加した伊丹特別支援学校の児童生徒数 | 計画 | 12 | 22 | 創注 | |
| | | | | | | | | | | | | | | 01 |
| 221505 伊丹市教育支援委員会事務<名称変更前:「就学指導委員会事務」> | ・心身に障がいのある幼児児童生徒の適正な就学(園)について審議する。 ・就学(園)指導を実施する。 ・多様な障がいに対応するための教職員の専門性の向上、学習指導の充実を図る。 | 適正な就学(園)に向けた指導及び診断等に関すること。教育相談・社会啓発に関すること。研究調査に関すること。 | ・一人一人の幼児児童生徒の状況に応じた就学指導の実施 ・個に応じた支援の充実 ・早期からの一貫した支援の在り方について検討 | 10 | 141 | 139 | 開催回数(回) | = | 児童の教育的ニーズに応じた適正な就学指導を行う。 | 計画 | 10 | 10 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | 01 |

| 事務 事業 コード | 事務事業名 | 事業の目的 | 事業の内容 | 平成28年度 事業の目標 | 款 項 | 事業費の概算(千円) | | 活動/成果指標の状況 | | | | | 重点 新規 | | |
|-----------------|--------|---------------------------------|--|---|--|------------|--------|------------|------------------|--------|-------------------------|-----|----------|--------|----|
| | | | | | | H27 | H28 | 指標名 | 性質 | 意味・算式等 | H27 | H28 | | | |
| 手 段 | 221506 | 特別支援教育支援員配置事業 | ・伊丹市立小中学校に特別支援教育支援員を配置 ・発達障がい等により、特別な支援を要する通常学級在籍の児童生徒に対し、学級担任の指導のもと、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行う。 | ・児童生徒の学習活動の支援 ・対象児童生徒と他の児童生徒とのコミュニケーションを図るための支援 ・通常学級における特別支援教育に関すること | ・特別支援教育支援員を小中学校に配置 ・通常学級に在籍する発達障がい等の児童生徒に対し、合理的配慮を実施 | 10 02 | 42,185 | 42,185 | 特別支援教育支援員配置校数(校) | = | 特別支援教育支援員の配置がされた学校数 | 計画 | 25 | 25 | 創注 |
| | 221509 | 特別支援学校管理運営事業 | 特別支援学校の適切な管理・運営を図り、良好な教育環境を維持する。 | ・学校予算編成及び決算に関すること。 ・教材教具等の購入及び整備に関すること。 ・学校執行分支払いに関すること。 | ・特別支援学校の適切な運営・管理に必要な予算執行管理及び教材教具等の購入・整備を行う。 ・毎月の光熱水費の執行状況を注視し、学校と連携し、適正な使用量となるよう管理する。 | 10 04 | 44,908 | 37,659 | 特別支援学校費(千円) | 評価対象外 | 当該年度の特別支援学校費(教育総務課所管部分) | 計画 | 44,908 | 37,659 | |
| | 221510 | 特別支援教育巡回相談員派遣事業 | 「巡回相談」を通して、障がいのある子どもに対する適切な支援について助言を行い、教員の指導力の向上を図る。 | ・巡回相談、巡回相談調整会議の実施(市教育委員会、伊丹特別支援学校、県立こやの里特別支援学校、学校生活支援教員) | 相談内容に合わせて巡回相談を実施し、学校園における効果的な支援体制を構築する。 | 10 01 | 1,980 | 2,580 | 巡回相談実施回数(回) | 評価対象外 | 教育現場に赴いて相談を実施した回数 | 計画 | 135 | 135 | 創注 |
| | 221511 | 特別支援教育ことばの支援教室事業 | 保護者からの子どものことばに関する相談に対して助言を行うことにより、個々の実態に応じた改善を図る。 | ・言語聴覚士による「ことばの支援教室」(年70回)の実施 | 言語聴覚士が、子どものことばに関する様々な相談に対して助言を行う。相談内容に合わせて、特別支援教育相談など他の相談事業と連携し、学校園における効果的な支援体制を構築する。 | 10 01 | 770 | 776 | 相談回数(回) | 評価対象外 | 面接相談を実施した回数 | 計画 | 210 | 210 | |
| | 221512 | 特別支援学校通学バスの更新 | 特別支援学校児童・生徒の通学手段を確保する。 | 特別支援学校通学バスの更新 | 次年度以降実施予定 | 10 04 | - | - | - | - | - | 計画 | - | - | |
| | 221514 | 伊丹特別支援学校活性化事業(221503・221507を統合) | ・教職員が自立活動への理解を深めるとともに、専門性の向上を図る。 | 各方面の指導者のもと、実践的な研修を行う。 理学療法士等が特別支援学校教員に対し指導方法等に関する医学的側面からの助言を行う。 | ・理学療法士等、実践的な指導技術を有する指導者のもと、児童生徒の教育的ニーズに応じた個別学習の実施 ・教職員の指導力向上に向けた、自立活動研修会の実施 | 10 01 | 1,184 | 1,078 | 開催回数(回) | = | 自立活動研修会及び理学療法士等を活用した回数 | 計画 | - | 48 | 創注 |

| | | |
|----------------|--------|--------|
| 施策全体事業費の概算(千円) | H27 | H28 |
| | 92,605 | 85,767 |